

令和 4 年度 自ら学び 自ら考え 自ら行動する子を育てる



松林小だより



令和5年 1月 31日 第 11 号

茅ヶ崎市立松林小学校 校長 平木 恵美



寒いが続いています。今年は大寒波が来ていて、例年に比べ寒いと聞いています。そんな中ではありますが、子どもたちは校庭で持久走をしたり、縄跳びをしたりしながら、元気に過ごしています。気が付けば、2月3日は節分、4日は立春となります。暦の上では春、木の芽も膨らみ始めています。学校では、今年度のまとめをする時期であり、さらには、来年度に向けての準備が始まりだす時期でもあります。その一つが、委員会の引継ぎです。1月24日の委員会活動では、6年生から5年生に引継ぎが行われました。6年生はこの一年本当によく活動し、学校を支えてくれました。その6年生はどんな思いで5年生に説明をし、5年生はどんな気持ちでその説明を聞いていたのか。真剣なまなざしで引き継ぐ6年生と5年生。そのような子どもたちの姿は本当に心動かされます。子どもたち自身が、この学校をより良いものにしていこうと活躍する学校であってほしいと願うとともに、新6年生の活躍する姿が楽しみです。



飼育の仕事を実践して伝えていました



さて、6年生にとっては、小学校に登校するのもあと2か月となりました。先日は松林中の説明会に行って中学生から直接話を聞いてきました。また、25日にはその6年生に向けて日立Sundivaクラブの方によるソフトボール教室が行われました。ソフトボールの指導をしてもらい、現役選手の話や、プレーを見ることができ、子どもたちは大喜びでした。本物に触れる機会が持てたことはとても良かったと思います。

しょうりんしょうがっこう はっけん 松林小学校のステキ発見！～米づくりの活動を通し深い学びができました！



松林小の特色ある教育活動、米づくりの活動を地域のお力をお借りしながら、24年続いてきました。しかし、米づくりをするにあたって必要な水を確保できない状況となり、松林田んぼでの米作りが今年度をもって残念ではありますが終了することになりました。地域の中で自然と触れ合いながら学びを深めていくことができたことは子どもたちにとって貴重な体験でした。松林小学校を巣立っていかれた方々にとっても思い出深い活動であったことと思います。

米づくり活動を行うにあたって松林田んぼを貸してくださった方、水を手配してくださった方々、そして、作業を指導してくださった田んぼの先生、推進協の皆様、PTAの皆様、自治会の皆様…地域の皆様には長い間活動を支えていただきました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。学校では教職員一同、今後に向けて地域の中での新たな学びを模索しております。保護者の皆様・地域の皆様におかれましては、今後とも松林という地域の中で子どもたちが大きく成長できるよう見守っていただきたく思います。

